

2016年 環境活動目標・実績の取組結果とその評価

2016年12月26日 環境管理責任者 白井 佳子

	目標	結果	実施状況	評価	原因	改善策
地球温暖化防止への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気使用量 2015年実績を維持 エアコン 5,376kWh 電灯 9,724kWh 合計 15,100kWh</li> <li>ガソリン使用量 2015年実績を維持 733L</li> <li>二酸化炭素排出量 2015年実績を維持 9,500.0kg-CO<sub>2</sub></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気使用量実績 2015年比7.0%増 エアコン 5,642kWh 電灯 10,513kWh 合計 16,155kWh</li> <li>ガソリン使用量実績 2015年比32%増 971L</li> <li>二酸化炭素排出量実績 2015年実績より12%増 10,590.3kg-CO<sub>2</sub></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調設定の効率化及び温度設定の徹底(夏28℃/冬21℃)</li> <li>昼休み(12:00~13:00)事務所内消灯の徹底</li> <li>クール・ビズの早期開始・終了延長(5/16~10/15)</li> <li>週休2日制導入</li> <li>効率の良いルートでの外出・関与先訪問の徹底</li> <li>空調室外機設置状況の点検</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調電力使用量は例年並みだが電灯電力使用量が昨年より8.2%増。特に繁忙期(1.2.3月)仕事量増が要因と考えられる</li> <li>新しい関与先や出張回数が増えたため増加したと考えられる。</li> <li>節電への取組や意識は継続するものの、業務も増加傾向にあり電力量も増加。合わせて二酸化炭素排出量も増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務内容を再検討し不必要な残業等を減らし、電力使用量削減を目指す</li> <li>クールビズの推進・延長</li> <li>屋内・屋外の気温測定</li> <li>空調温度の管理の再徹底(夏28℃/冬21℃)</li> <li>6月~12月は月1回のノ残業デーを実施</li> <li>効率的なルートで外出・関与先訪問を心掛ける</li> <li>再認識したエコ運転を実践していく</li> </ul>
地球資源の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物量 2015年比2.5%減 リサイクル 344.0kg 処分 156.0kg 合計 500kg</li> <li>紙使用量 2015年比2.0%減 390kg</li> <li>水使用量 2015年実績 92 m<sup>3</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物量実績 2015年比7.0%増 リサイクル 385.0kg 処分 164.0kg 合計 549.0kg</li> <li>紙使用量実績 2015年比3.4%増 412.7kg</li> <li>水使用量 2015年実績を維持 92 m<sup>3</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源ゴミ買取業者を利用しこれにより資源ゴミ分別の徹底</li> <li>職員は粉茶を使用し生ゴミを減少</li> <li>電子申告強化・メール配信等ペーパーレス業務の徹底の呼掛け</li> <li>両面コピー・印刷を徹底強化</li> <li>不要なプリントアウトを自粛</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>税制改正により、仕事の依頼内容に変化が生じ、業務も増加傾向にあることから、紙使用量も増加、合わせて廃棄物も増</li> <li>電子申告・メール等ペーパーレスを呼びかけるも、機密的な資料が多く、またコピーして保存することが多いため、減少は困難であった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不要な紙類は、シュレッダーを利用して古紙として分別資源ゴミへ</li> <li>不要なDMなどの返却・拒否</li> <li>生ゴミ削減のため粉茶を使用</li> <li>両面機能付コピー機導入検討</li> <li>両面コピー・印刷再徹底</li> <li>使用量調査の回覧再徹底</li> <li>多忙な時期でも、一人一人が意識することで、減少へつながる</li> </ul>
環境意識向上と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページにてエコアクションの情報を発信</li> <li>外部講師を招き環境について勉強会を開催し内容を発信</li> <li>グリーン商品購入の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発信当初のテーマに戻り個人々の目線で、環境を肌で感じる内容で発信できた</li> <li>実務が多忙で実現が困難であった</li> <li>グリーン商品購入金額の割合 月平均69%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が日常の中で発見した小さな環境活動を紹介</li> <li>実施できず</li> <li>プリンター等のインカートリッジを再利用に出す</li> <li>古本を目の不自由な方々の為の点字図書等の製作に役立てるプログラムに参加</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組から10周年迎え再度初心に戻って活動していきたいと思い当初のテーマに決定</li> <li>年間を通じ、実務が多忙傾向にあり実現は困難であった</li> <li>購入先業者による使用済みインカートリッジ回収サービスを利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページをさらに活用し環境情報を発信していく</li> <li>全員参加を目標とする</li> <li>今後もこのような環境を考えたサービスを活用していきたい</li> </ul>

平成24年度中部電力の実排出係数0.516 kg-CO<sub>2</sub>/kWhを適用(平成25年12月19日 環境省公表)